

市民版

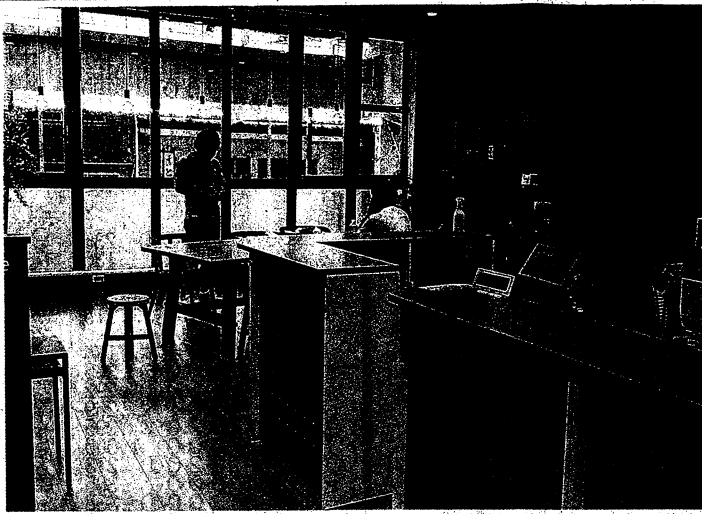


発達障害者支援施設オープン

「進路の選択肢広げて」

中 京

社会の仕組みや自立への福祉施設「Wick College」について学び企業就労を目指す発達障害者向（ウィックカレッジ）



オープンして間もないウィックカレッジ。奥は利用者とスタッフがくつろげるカフェスペース

（京都市中京区）

が京都市中京区寺町通三条上ルにオープンした。当事者は高校や特別支援学校高等部を卒業後にすぐ就労するケースが多いが、ウィックカレッジではキャンパスライフを楽しみながら4年かけて自分の人生を考えることができるという。

ウィックカレッジは、障害福祉サービスのうち、障害者の自立を支援する「生活訓練」と就職に必要な知識やスキルを身に付ける「就労移行」を組み合わせた施設。広さは215平方メートル、教室に加えミーティングスペースとカフェスペースがあり、4月に開設した。

18歳から利用できる。利用者は金銭管理や就労などに関する知識、対人関係のルールを学ぶほか、自身の特性への理解を深めることを通して、生き方や働き方を考える。

オープンしたのは、京都市内などで放課後デイサービスを運営する「マコム・プランニング」（大阪市）。利用者の保護者から「障害のある子は発達がつくりなのに、なぜ高校卒業後すぐに就労しなければならないのか」という声があったといい、発達障害のある若者でも企業就労に向けて十分に学べる環境を提供しようと開設を決めた。ウィックカレッジの鍵谷篤代表は「進路の選択肢が広がれば」と話す。

（大西幹子）

認定補聴器専門店

株吉田咲

創業111年
西大路
07